

調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議員 千葉 大作 様



報告年月日	平成 27 年 11 月 19 日		
実施日 (期間)	平成27年10月19日～平成27年 10月19日		
実施場所 (行先等)	虎の門ヒルズフォーラムホールB		
事業区分 (いずれかに○)	<input checked="" type="radio"/> 研 修 調査研究 要望・陳情活動 会 議		
事業内容	乳がん・子宮頸がんの理解を深め、国の動きを知り、地域で出来ることを考え、学びあう。 「第1回地域と国を繋ぐ乳がん・子宮頸がん検診促進全国大会」		
報告者	(会派名) 公明党	(代表者) 岩淵 優	①
参加者	議員 小岩寿一	■	議員 ①
	議員	①	議員 ①
	議員	①	議員 ①
	議員	①	議員 ①
	議員	①	議員 ①
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)		
主要 資料名	乳がん・子宮頸がん検診促進 2015版		

1. 目的

平成27年6月に発表された、がん対策基本推進計画の中間発表では、乳がんについては、死亡率が横ばい、子宮頸がんについては、死亡率増加が加速傾向にあると予測されている。先進国の中で受診率が最低レベルである日本の検診制度のどこに課題があり問題解決のためには何が出来るのか。乳がん・子宮頸がん検診促進を目的とする国会議員連盟が呼びかけ、日本を代表する専門家を迎え、乳がん・子宮頸がんの理解を深め、国の動きを知り、地域で出来ることを考え、実行していく。

2. 概要

- ①「乳がんの基礎とがん検診の在り方」と題して、認定NPO法人乳房健康研究会理事長で、聖マリアンナ医科大学付属研究所の福田護先生の講演
- ②「子宮頸がんの基礎とがん検診のあり方」と題して、公益社団法人日本産婦人科医会常務理事で自治医科大学名誉教授の鈴木光明先生の講演
- ③「地方のがん対策これまでとこれから」と題してのパネルディスカッション
(パネラーは、福田先生×鈴木先生×議連の役員(国会議員)×応援団共同代表)

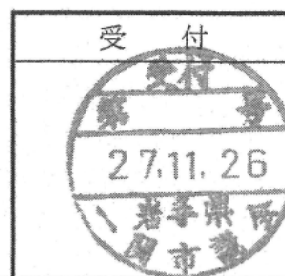
※スライドを中心に、乳がん・子宮頸がんの基礎と検診のあり方を学ぶ。
質疑応答を通して、各地の健診状況の情報を交換した。

3. 参考とすべき事項・所感

- ・受診率を高める方法として、コール・リコール制度がある。英国では子宮頸がん検診の受診率が69%と飛躍的に向上した。それに伴い、死亡率も激減している。
- ・出産年齢のピークは子宮頸がん罹患のピークでもある。
- ・がんの死亡率を低下させるには、何よりも早期の検診が第一である。
- ・義務教育の中で、健康の大切さ、検診の重要性を学習することで、知識が深まり将来的にはがんの死亡率の低下につながっていく。長い目で取り組んでいくことが大切だ。
- ・がん検診全般に言えることだが、いかに受診率を向上させて検診を受けてもらうか、当市にとっても大きな課題である。ここで学んだことを生かして、当市の検診率の向上に今後も取り組んでいきたい。

調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 千葉大作様



報告年月日	平成 27 年 11 月 26 日		
実施日 (期間)	平成27年10月27日～平成27年10月27日		
実施場所 (行先等)	岩手県民情報交流センター (アイーナ)		
事業区分 (いずれかに○)	研 修	調査研究	要望・陳情活動 会議
事業内容	定住人口の増加や地域の活性化策を地域の官民連携により、各自治体の定住促進事業をいかに進めるかの情報を共有		
報告者	(会派名) 公明党	(代表者) 岩淵 優	
参加者	議員 岩淵 優	議員 小岩寿一	
	議員	議員	
	議員	議員	
	議員	議員	
	議員	議員	
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙 (1) 2. 概要・・・・・・・・別紙 (2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙 (3)		
主要 資料名	国土交通省の PPP/PFI への取り組みと案件形成の推進		

1. 目的

地域活性化に向けて住環境をどのように整備すれば、若者層が定住してくれるか、そのためには、自治体間の協力と公民連携による効率的・効果的な住環境整備施策を中心としながら、さらに多面的な魅力的な街づくりに資する施策を推進することを目指す。

2. 概要

①「国土交通省の官民連携の取り組み」と題して国土交通省総合政策局 官民連携政策課長の大澤一夫氏

②「住宅施策における公民連携の取り組み」と題して国土交通省住宅局住宅総合整備課 課長補佐の豊田憲治氏

③「地域医療構想を巡る公民連携の取り組み」と題して厚生労働省医政局 地域医療計画課 課長補佐 細川康二氏

④「「0系 PPP」自治体財政負担を少なくする公民連携の取り組み事例」と題して公民連携定住対策推進自治体連絡会 事務局長 伊庭良知氏

- ・この4講師がパワースポットを使い講演した。
- ・手元に配布される紙ベースの資料は一切なし。

3. 参考とすべき事項・所感

- ・これからは官だけでは政策が進まない。民間の資金、知恵、ノウハウをいかに活用するかが問われる時代だ。
- ・儲ける自治体にならなければ生き残れない。
- ・人口減少問題の解決、街の活性化の課題、財政の健全化などの課題をどこの自治体でも抱えている。このような課題解決に興味を持ち、アイデアを持っている民間有識者の会合に行政が積極的に参加して学習することにより、解決の糸口が見つかるのではないかと感じた。

10/27

(火)

13:00-17:00

公民連携定住対策 推進自治体連絡会 第6回講演会

1. 国土交通省の官民連携の取り組み (仮題)
国土交通省 総合政策局 官民連携政策課長 大澤 一夫 氏
2. 住宅施策における公民連携の取り組み (仮題)
国土交通省 住宅局 住宅総合整備課 課長補佐 豊田 憲治 氏
3. 地域医療構想を巡る公民連携の取り組み (仮題)
厚生労働省 医政局 地域医療計画課 課長補佐 細川 康二 氏
4. 「0系PPP」自治体財政負担を少なくする
公民連携の取り組み事例
公民連携定住対策推進自治体連絡会 事務局長 伊庭 良知 氏

会場：岩手県民情報交流センター (アイーナ)

JR・IGR盛岡駅 徒歩4分 (岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号)

費用：無料

定員：100名

主催：公民連携定住対策推進自治体連絡会

(事務局：内閣府認証NPO法人 全国地域PFI協会・株式会社こうきょう)

参加希望の方は、裏面の申込用紙に所定事項をご記入の上、下記宛FAXでお申込みください。(お問い合わせも下記までお願い致します。)

お問い合わせ 株式会社こうきょう (事務代行)

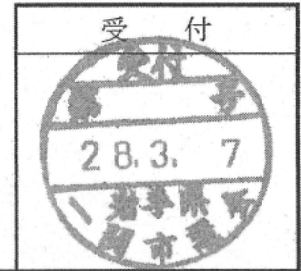
Tel:03-5774-5600 Fax:03-5774-1661

E-mail : kokyo@kokyo.co.jp

URL : <http://www.kokyo.co.jp/>

調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 千葉大作様



報告年月日	平成 28 年 3 月 7 日		
実施日 (期間)	平成28年2月8日～平成28年2月9日		
実施場所 (行先等)	福島県喜多方市・会津若松市		
事業区分 (いずれかに○)	研 修 調査研究 要望・陳情活動 会 議		
事業内容	○喜多方市 「小学校の農業科について」 ○会津若松市 「議会改革の経緯・経過について」 ○会津若松市 「オープンデータの取り組み (DETA for CITIZEN)」について		
報告者	(会派名) 公明党	(代表者) 岩淵 優	■
参加者	議員 岩淵 優	■	議員 小岩寿一 ■
	議員	Ⓜ	議員 Ⓜ
	議員	Ⓜ	議員 Ⓜ
	議員	Ⓜ	議員 Ⓜ
	議員	Ⓜ	議員 Ⓜ
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙 (1) 2. 概要・・・・・・・・別紙 (2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙 (3)		
主要 資料名	喜多方市小学校農業科視察資料		
	平成27年度議会のしおり (会津若松市)		
	議会からの政策形成 (会津若松市)		
	会津若松市産学官連携によるオープンデータの取り組み		

公明党行政視察行程表

月 日	視察先等	行 程						
2月8日 (月)	福島県喜多方市（場所：市役所） ○小学校の農業科について [議会事務局] 電 話 0241-24-5253 (直通)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">鉄道</td> <td style="width: 95%;"> 07:59 発 一ノ関駅 08:31 着 仙台駅 08:44 発 09:29 着 郡山駅 09:40 発 10:54 着 会津若松駅 11:00 発 11:15 着 喜多方駅 昼食 13:20 着 喜多方市役所 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">タクシー</td> <td style="width: 95%;"> 喜多方市視察 (13:30~15:00) </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">鉄道</td> <td style="width: 95%;"> 17:46 発 喜多方駅 18:01 着 会津若松駅 18:10 着 会津若松市内ホテル </td> </tr> </table>	鉄道	07:59 発 一ノ関駅 08:31 着 仙台駅 08:44 発 09:29 着 郡山駅 09:40 発 10:54 着 会津若松駅 11:00 発 11:15 着 喜多方駅 昼食 13:20 着 喜多方市役所	タクシー	喜多方市視察 (13:30~15:00)	鉄道	17:46 発 喜多方駅 18:01 着 会津若松駅 18:10 着 会津若松市内ホテル
鉄道	07:59 発 一ノ関駅 08:31 着 仙台駅 08:44 発 09:29 着 郡山駅 09:40 発 10:54 着 会津若松駅 11:00 発 11:15 着 喜多方駅 昼食 13:20 着 喜多方市役所							
タクシー	喜多方市視察 (13:30~15:00)							
鉄道	17:46 発 喜多方駅 18:01 着 会津若松駅 18:10 着 会津若松市内ホテル							
2月9日 (火)	福島県会津若松市（場所：市役所） ○議会改革の経緯・経過について ○オープンデータの取り組み 「DETA for CITIZEN」について [議会事務局] 電 話 0242-39-1323 (直通)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">タクシー</td> <td style="width: 95%;"> 09:00 発 ホテル 09:20 着 会津若松市役所 会津若松市視察 (9:30~11:30) 昼食 会津若松市視察 (14:00~15:30) </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">鉄道</td> <td style="width: 95%;"> 16:22 発 会津若松駅 17:35 着 郡山駅 17:51 発 18:26 着 仙台駅 18:39 発 19:10 着 一ノ関駅 </td> </tr> </table>	タクシー	09:00 発 ホテル 09:20 着 会津若松市役所 会津若松市視察 (9:30~11:30) 昼食 会津若松市視察 (14:00~15:30)	鉄道	16:22 発 会津若松駅 17:35 着 郡山駅 17:51 発 18:26 着 仙台駅 18:39 発 19:10 着 一ノ関駅		
タクシー	09:00 発 ホテル 09:20 着 会津若松市役所 会津若松市視察 (9:30~11:30) 昼食 会津若松市視察 (14:00~15:30)							
鉄道	16:22 発 会津若松駅 17:35 着 郡山駅 17:51 発 18:26 着 仙台駅 18:39 発 19:10 着 一ノ関駅							

【連絡先】

- 一関市議会事務局 0191-21-8604 (直通)
- 公明党：岩淵優 (いわぶちまさる) 議員 XXXXXXXXXX

平成28年 2月8日 福島県喜多方市（市役所）

「小学校の農業科について」

別紙（1）

1. 視察目的

- (1) 現代社会において、子どもたちに関係する犯罪は、虐待をはじめ数多く発生している。いつも話題になるのは、加害者側の人間性の問題である。こうした背景にあって、農業が持つ教育力を、子どもたちの豊かな心を育むために生かそうと取り組んでいたのが喜多方市であった。この喜多方市の取り組みは、どのように行われているのか、また、その結果子どもたちへもたらす好影響はどのようなものがあるのか等を調査するため。
- (2) 喜多方市の小学校農業科に対する基本的な考え方、実施の意義、狙い、目標や実施方針などについて調査するため。

別紙（2）

2. 視察概要

喜多方市教育委員会が中心となり、地域の農業者や農業高校などと連携し、小学3年生から農業科の授業は始まり、作文を通して、子どもたちが喜々として農業に取り組み、また農業から学んだことが数多くあることを伺い知れた。

詳細は、別紙、視察資料による。

別紙（3）

＜参考とすべき事項・所感＞

- （1）喜多方市の基幹産業である農業を教育に生かそうと、授業の中に取り入れたことに、本気度が感じられた。
- （2）当市においても、教育の中に一定程度農業を取り入れているが、基幹産業が農業であることと、農村が持つ多面的機能の重要性から、これらの維持管理が求められている背景から、もっと積極的に且つ大胆に、農業の持つ教育力を教育現場に取り入れて行くべきであると考えます。
- （3）豊かな人間性を育む土壌は、遠くにあるのではなく身近な農業にあることをあらためて痛感した。
- （4）あらゆる生き物や作物、そして、人間と人間のふれあいの中から、自然との共生ということも、意識せずに学ぶことができる重要な要素を、農業は持っているのだと強く感じた。
- （5）授業の中に、「農業科」を取り入れるとか、取り入れないとかの形ではなく、どのようにしたら農業が持つ教育力を、子どもたちの豊かな人間性の形成に役立てられるかを研究し実践に結び付けて行くべきである。
そのことが、これからの地方創生の一助になっていくと確信する。

以上

平成28年 2月9日 福島県会津若松市（市役所）

「議会改革の経緯・経過について」

別紙（1）

1. 視察目的

- (1) 議会改革の先進地である会津若松市議会の取り組みから、議会改革の経緯・経過そして現状について学び、本市議会における議会改革の参考とするため。
- (2) 会津若松市議会の先進的事例などを調査し、本市議会の議会改革に取り入れられないか等を研究するため。

別紙（2）

2. 視察概要

会津若松市議会の議会改革を先導し、現在も中心的役割を果たしている方々から、数多くの取り組みをお聞きした。

詳細は、別紙、視察資料による。

別紙（3）

<参考とすべき事項・所感>

- (1) 市民と議員の意見交換会を、年2回開催しているが、テーマを事前に、広報広聴委員の議員が、開催地区の町内会長と打合せし、地元要望に沿ったテーマを選定して、意見交換会に臨んでいた。尚、町内会長は、テーマ選定のために、町内会の役員会を開催し意見要望をとりとめる作業を行っている。
このことが、市民に対して、議会側からの取り組み姿勢が伝わり、市民側も議会に対する期待の高さに繋がっていると感じた。
要望等に対する回答は、6か月後に開催する意見交換会で、市民に報告している。尚、担当する地区が変わったら、その班に引き継いでいる。
これは、当市議会でも参考とすべき取り組みである。
- (2) 市民との意見交換会の議員側の班編成は、原則2年間メンバー固定としていた。
- (3) 議員間の政策討論会を開催しているが、これには、外部有識者を招き、広く専門的な考えを勉強する取り組みを行っていた。有識者の人選は、議会事務局が行っており、当市議会も研究・検討する必要がある。
- (4) 議長選出にあたっては、議長立候補者が、所信表明を行い議会改革などの公約を発表し、質疑応答を行い選挙を行っている。
- (5) 議会改革は、「議会制度検討委員会」という委員会が中心的役割を担っている。
- (6) 議会からの情報発信、市民からの意見要望等の受信には、「広報広聴委員会」が、極めて重要な活動を行っている。
- (7) 「議会改革は、議員改革だ」とよく言われるが、会津若松市議会の議会改革を調査するにつけ、その言葉が、あらためてとても重要なことであると実感した。当市議会も、継続的な議会改革をし続けられるような体制にしていくべきである。

以上

平成28年2月9日 福島県会津若松市 (市役所)

「オープンデータの取り組み (DETA for CITIZEN) について

1. 視察目的

オープンデータとは、広く開かれた利用が許可されているデータのことであり、行政有機関が保有する地理空間情報、防災・減災情報、調達情報、統計情報などの公共データを、利用しやすい形で公開することをさす。オープンデータの取り組みが進んでいる会津若松市を視察し、経済の活性化、行政の効率化の手法を学ぶため。

2. 視察概要

会津若松市の総務部情報政策課の本島靖主幹、藤井淳主事より、スライドを使って、オープンデータのしくみ、メリット、会津若松市の具体的な取り組み等を学ぶ。

3. 参考とすべき事項・所感

- 1) 市のデータは国民市民の共通財産。まず、市はデータを積極的に公開することが必要である。
- 2) 市がお金と時間を使ってデータを2次加工する必要はない。民間団体や、個人が自由にデータを加工して、使いやすいアプリを作れる。
- 3) オープンデータを実施するときには、庁内に組織（例えば情報化推進本部）を立ち上げ各部横断的な取り組みが必要。
- 4) 会津若松市は、地元の会津大学と連携してオープンデータを利用して多くのアプリを作成し、市民に役立つ情報が提供されている。一関は高専があるので、連携を深めてアプリを作成できる環境にある。
- 5) 市は興味がある人を募り IT 系の勉強会を開いたり、オープンカフェ形式で自由気軽に意見交換ができる場を設けたらどうか。
- 6) 実際に多くのアプリを見て、オープンデータの活用により地域活性化に大いに役立つと実感した。